

南房江見港出船

フリースタイルで楽しめる!

南房江見のイサキ五目

撮影◎鈴木良和



▲冷凍イワシエサにマハタがヒット



▲カサゴも釣れた



★朝イチの食いがいい時間帯はトリプルも連発



▲アオハタも登場

▲オニカサゴもオキアミエサに食ってきた
▼ここ数年増えているアカヤガラ。今や定番!?



▲チカメキントキとホウボウの一荷
▼テンピン仕掛けのコマセカゴはFLサイズのオモリ60号。オキアミ、冷凍イワシなどの付けエサは受付で販売



▲イサキとカンパチの一荷



▲冬場のメジナは美味



▲ハナダイは大中小交じる
▶カイワリも顔を出す
▼釣り場は江見沖の水深50~70メートル前後



11月中旬の取材日はイサキ、ハナダイ、カンパチ(若魚)、カイワリ、ホウボウ、チカメキントキ、マハタ、アオハタ、オニカサゴ、カサゴ、メジナ、アカヤガラなど十目を超える良日となった。色んな魚を釣りたい欲張り派におすすぬだ。
(詳細は52ページ参照)

南房江見港・新栄丸の看板メニューは「イサキ五目」。釣れる魚はイサキ、ハナダイ、根魚、青物など多彩で、その狙い方がユニーク。
カラーバリのイサキ仕掛けで数釣りも堪能するもよし、アマダイ仕掛けにオキアミエサでハナダイやアマダイ、青物を釣るもよし、ヒラメ仕掛けに冷凍イワシを付けてハタを狙うもよし、いわばフリースタイルの五目釣りを楽しめるのだ。

